

① 外部評価への取組みを中心にした実践

小野田市立高千帆中学校

1 学校評価の目的

学校の教育活動は学校教育目標の実現をめざす営みである。その活動の充実・改善を図り、より確かなものにしていくためには、教育活動の成果と改善点を明らかにすること、つまり学校評価が大切である。

学校評価の目的は、学校自らがそれぞれの学校教育目標の達成状況を生徒の実態の上に立って、学校全体あるいは教職員一人ひとりの段階で明らかにし、その結果を学校教育活動の充実・改善につなげていくことにある。

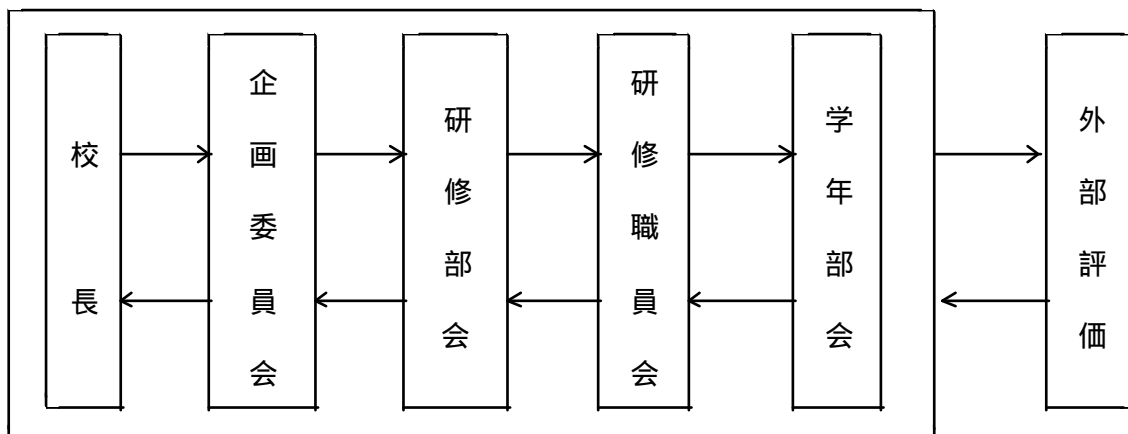


< 授業研究 技術 >

これまで、教職員のみで行ってきたこの評価も、これからは、教職員が自ら行う「自己評価」と、教職員以外が行う「外部評価」の相互作用の中で行うことが必要である。そのためには、校内の教職員が共通理解し、組織的に取り組むことはもちろん、保護者や地域の方に「学校評価」のねらいや意義に対する理解を得ることが大切である。

今、家庭や地域を含めた広く一般社会の意見や要望を取り入れた、地域に開かれ、信頼される学校づくりをめざすことは、将来を担う子どもたちを教育する者の責務である。

2 評価体制



[企画委員会]

・構成

校長、教頭、教務主任、生徒指導主任、研修主任、学年主任（3名）の計8名。

・役割

学校評価の計画・実施等について、運営上生じる諸問題についての連絡、調整を行う。

[研修部会]

・構成

各学年の研修部員1名の3名と研修主任で構成。

・役割

学校評価の計画・実施等にかかわる中核となる。

本校では、昨年度の反省を基に、研修部を中心に評価項目の作成・集計・分析から目標の達成状況の分析まで、すべての学校評価活動に全教職員がかかわることができるよう評価体制を構築した。

その理由としては、限られたメンバーで進めていくと、「自分が評価される」といった受け身的で、防衛的なとらえ方となり、その結果「構え」が生まれ、自己肯定のみを意識する閉じられた姿勢になることが予想されるからである。一方、全教職員が学校評価のすべてにかかわることにより、安心感が生まれ「評価してもらおう」といった、前向きで、開かれた姿勢が生まれ、その結果、様々な角度から自らを振り返り、よりよいものに改善していくという意識が生まれやすいと考えたからである。



< 2年生職場体験学習 ケーキ作り >

3 年間評価スケジュール

過 程	月	取 組 み 内 容
P 計 画	4	・課題の把握 ・目標の設定 ・計画の立案
	5	第1回学校評価に関するアンケートの評価分野の検討（研修部会）
	6	第2回学校評価に関するアンケートの評価分野の検討（研修部会）
D 実 践	7	評価項目の素案づくり（研修部会） ・7月中旬
	8	評価項目の検討（学年部会） ・夏季研修会（全体での意見交換） ・夏季研修会の意見を基に再度項目の検討
	9	・評価項目の検討（研修部会） ・評価項目の決定（研修職員会）
C 評 価	10	学校評価の実施と集計（研修部会） ・学校評価の保護者への実施依頼 ・前期学校評価の教職員への実施 ・学校評価の生徒への実施 ・学校評価の結果の集計
A 改 善	11	・学校評価の結果の分析及び改善の検討（学年部会）
	12 1	・学校評価の結果の分析及び改善の検討（学年部会・研修職員会）
P 計 画	2	学校評価の公表（研修部）
	3	・後期学校評価の教職員への実施（研修部）

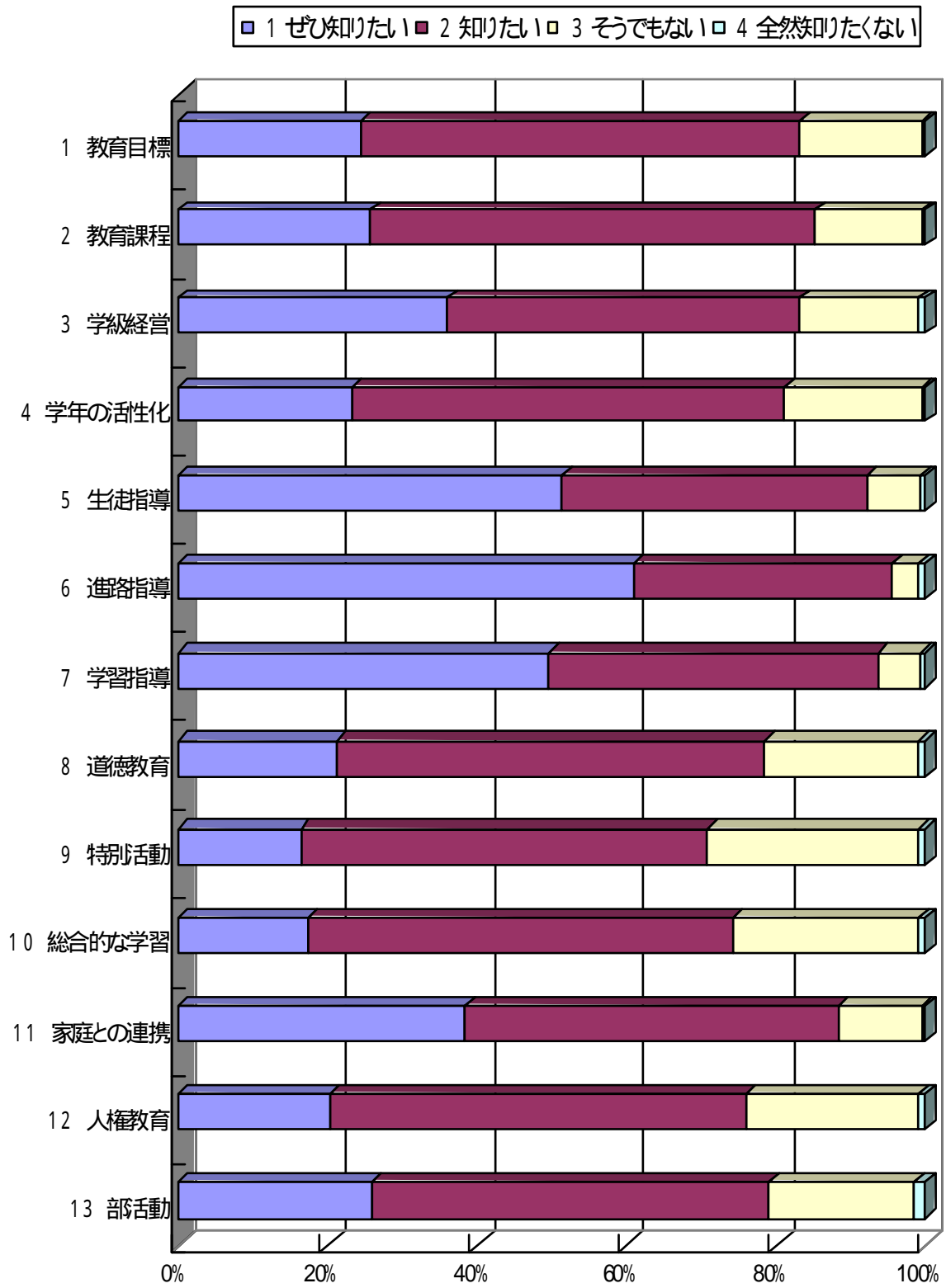
4 評価領域

評価領域の検討に当たり次のように考えた。学校評価は、本来すべての領域において行うべきものであるが、年間に複数回実施すること、教職員以外の者に対して実施すること等を考えると、質問の領域や項目数を考慮する必要がある。

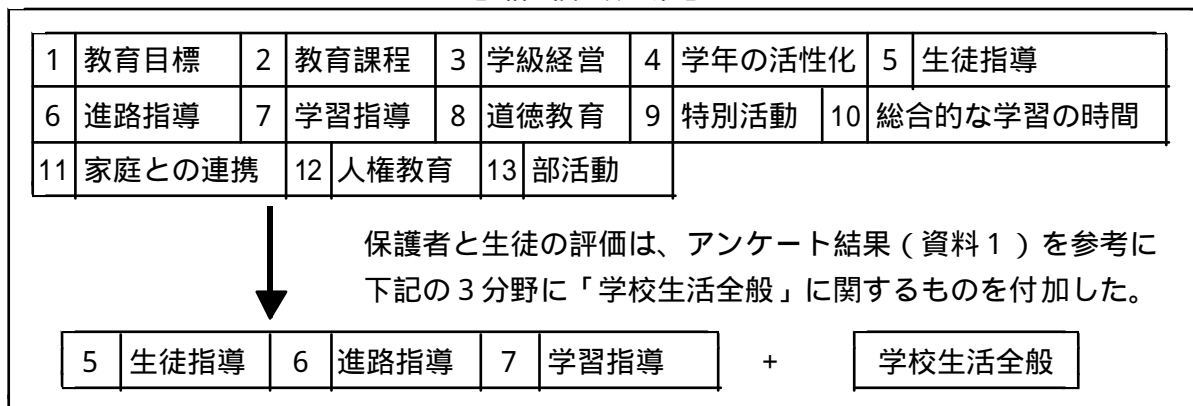
そこで、保護者を対象に、教育活動を13領域に分け、それぞれについての関心度を尋ねるアンケートを実施した。その結果（資料1）から、外部評価については、関心の高かった「生徒指導」「進路指導」「学習指導」の3領域を取り上げ、それに「学校生活全般」にかかわるものを追加し、4領域で実施することにした。

なお、学校評価の評価者は、教職員、保護者、生徒とした。

【資料1】全保護者を対象に1～13の領域について関心度をたずねた集計結果



【 評価領域 】



5 評価項目の設定

まず、年度当初に設定した、教育目標・具体目標・重点目標（資料2）を基に、各校務分掌や学年、さらには各教科の目標・方針を検討し、ねらいの具体化を図った。

さらに、その目標やねらいに基づいて、教職員一人ひとりが担当する教科や校務分掌、学級経営における具体的な活動を明らかにした。

その上で、全教職員が参加する体制のもと、それぞれが所属する学年部ごとに担当する評価領域を振り分け、評価項目の原案を作成し、研修職員会で検討を重ねた。

担 当 評 価 領 域

1年部（1年生所属の教職員）	・・・ 学習指導
2年部（2年生所属の教職員）	・・・ 家庭・地域との連携
3年部（3年生所属の教職員）	・・・ 学校生活全般，進路指導
4年部（校長、教頭、教務主任、生徒指導主任、養護）	・・・ 生徒指導

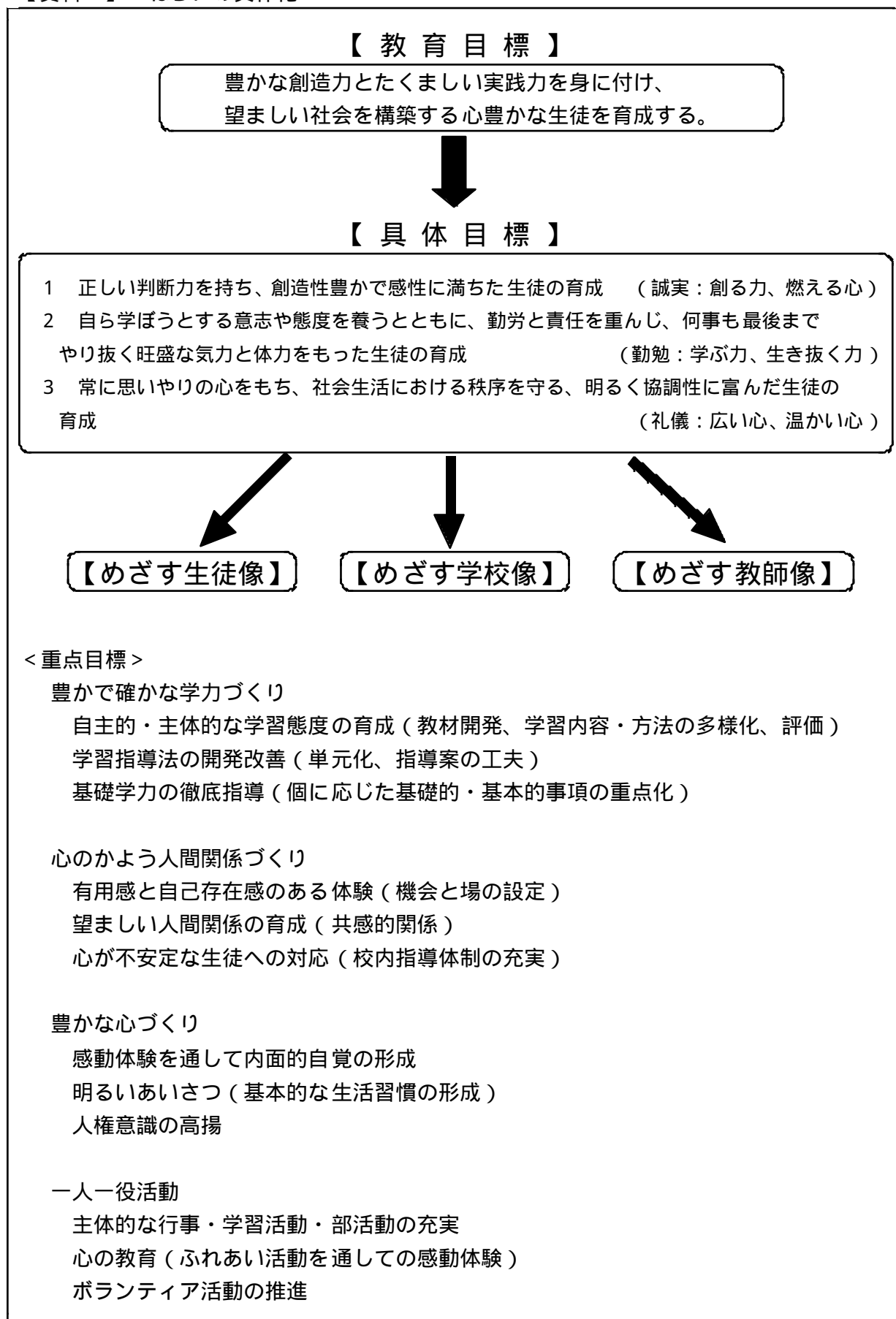
評価項目の作成の際、次の3点に留意した。

- (1) 生徒や保護者に対する評価項目については、教職員の評価項目とリンクさせることにより、教職員の捉え方と他の立場からの捉え方の違いを浮き彫りにし、より客観的な評価結果から適切な診断や分析ができるようにした。
- (2) それぞれの評価者が評価しやすいように、文章表現を分かりやすくするとともに、項目によっては、前文に学校で実践していることの説明を付けた。
- (3) 各項目に自由記述の欄を設け、保護者や生徒が自由に思いを記入できるようにした。



< 授業風景 国語 >

【資料2】 ねらいの具体化



6 評価基準の設定

評価の実施に当たり、A「まったくそう思う」、B「まあそう思う」、C「あまりそう思わない」、D「まったくそう思わない」の4段階の評価基準を設定した。そして、判断できない場合があるので、E「分からない」を付け加えた。

また、AとBの割合を加えたものを満足度の高い回答、同様にCとDの割合を加えたものを満足度の低い回答と考え、下のように、A+Bの割合によって活動の達成状況の判定基準を設定した。これを基に成果や課題を洗い出すとともに、次年度に向けた重点目標や具体的な姿について検討し、学校運営の充実・改善に役立てることができた。(資料4、6参照)

【 活動の達成状況の判定基準 】

・・・ 達成できていると判断される。	・・・ A + Bが70%以上
・・・ おおむね達成できていると判断される。	・・・ A + Bが50～70%未満
・・・ 改善を要すると判断される。	・・・ A + Bが50%未満

7 評価結果の分析・検討から充実・改善へ

本校では、10月に教職員、保護者、生徒それぞれを対象に学校評価を実施した。資料3は、その際の、保護者宛の依頼文書である。

基礎集計は担任が行い、グラフ化や自由記述部分の分類・整理は研修部が担当した。その集計結果を各学年部で分析し、具体的な対応を検討していった。資料4は分析例である。さらに、研修職員会で煮詰め、企画委員会を経て、最終的なアクションを決定していった(資料5)。その具体的な手順は、次のとおりである。



< 少人数指導 数学 >

まず、学年内のメンバーが2人ずつに分かれ、割り当てられた項目の集計結果から、次の点について検討し、意見・対処方法等を考える。

- ・ 40%未満の占める割合が多い項目については、その問題点を確認する。
- ・ その問題点を、例えば 主任として、 教科として、学級担任としてなど、考えられる立場でその意見や要望に対応するとすれば、どのようにしたらよいか、どのようなことが考えられるか、具体的な方策を考える。

学年部の全体会で順に問題点を紹介し、その対応策を検討する。

各学年の研修部員は、それをまとめ、研修職員会に持ち寄り検討する。

評価結果については、すべての項目についてグラフ化し、自由記述の部分は原則として原文をそのまま公表することとし、2月中旬にB5判21ページからなる報告書として全家庭へ配布した。

【資料3】 保護者宛アンケート依頼

アンケート調査（学校評価）「よりよい学校づくりのために」へのご協力をお願い

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素から、本校教育に対しまして、ご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。

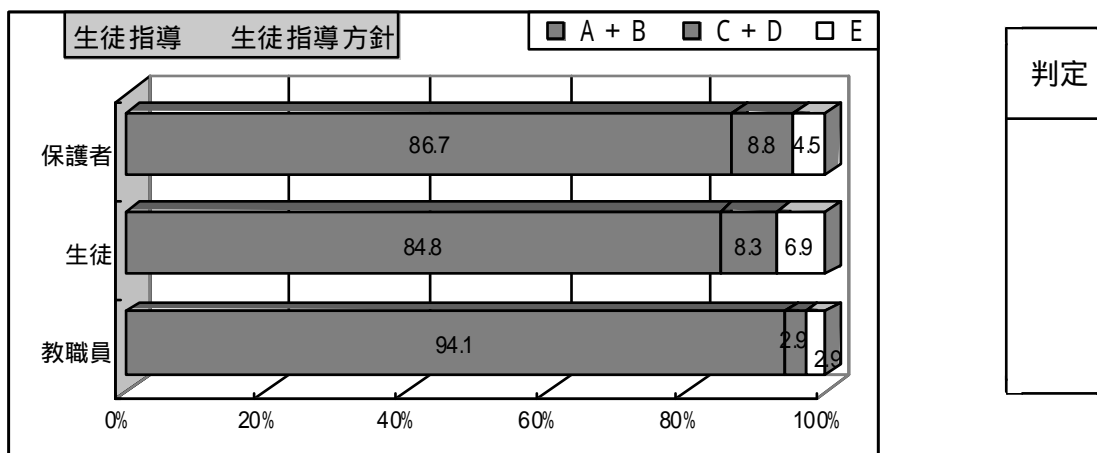
さて、本年度も折り返し点を過ぎましたこの時期、高千帆中学校をよりよくしていくために、保護者の皆様から本校の取組みについてご意見をお聞かせいただきたいと思います。

つきましては、大変ご多用のことと存じますが、下記によりまして、別添のアンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

記

- 1 提出期限 平成 年 月 日（ ）
- 2 提出先 封筒に入れて、学級担任にご提出ください。
- 3 記名について
いただきましたご意見・ご要望につきましては、できる限りの責任ある回答をしたいと思っておりますので、できましたら記名をお願いいたします。
- 4 結果の公表について
十分に検討させていただき、来年2月をめやすに報告させていただく予定にしております。
- 5 その他
アンケート調査（学校評価）は、保護者の皆様のほか、生徒の皆さん、教職員を対象に実施します。（内容は、対象者によって異なります。）

【資料4】 評価結果を基にした診断・分析



概ね保護者には理解されているようだが、生徒指導だよりなどで繰り返し学校の情報を発信するよう努力する。

理解できていない生徒がいるので、生徒にもっと分かりやすい言葉で説明する必要がある。（集計結果全体は、P. 59からの資料6参照）



< 授業風景 音楽 >

学校評価から起こすアクション等

1 学校生活・全般

* 学校経営への参画

学校経営は、みんなで創意・工夫をしながら行うべきで、できればみんなの総意で運ばれるべきであることをまず確認する。その「みんな」とは、教職員はもちろんのことであるが、保護者も生徒も含まれる。また、地域の方々も含まれるのである。次代を担う生徒の教育に携わっている我々は、多くの方々のニーズを把握し、それらに応える必要がある。そのためには、保護者等の意見を聞き、要望をできるだけ取り入れながら学校運営を行うことが、これからの姿である。今回、この「学校評価」の必要性が叫ばれているのも、その理由の一つである。

* 学校からの情報発信不足への対応 「たより」の発行と充実

- ・定期的に発行する。
- ・特集コーナーを設定して情報を提供する。

* 学校からの情報発信不足への対応 「参観日等の設定」

平均すると、月1回の実施となるように計画する。

ただ単に、授業を見せるだけの参観日等ではなく、時々、例えば「高中タイム」を利用して、学年懇談会等を実施する。

2 学習指導

* 学力の保障

授業時数確保のために、家庭訪問を夏季休業中に実施する。

* 絶対評価

更に研修を積み重ね、資質の向上を図る。

* 補習の実施

希望者に対して、長期休業中や定期テストの前に補習を行う。

* 学習の進め方「ガイドブック」を作成（5教科）する。

3 生徒指導

* 教職員の共通理解のための会議や事例研究の実施

みんなが高中の教職員の一員であることを、まず認識する。

学年を越えて、指導する・指導できる体制を構築する。

* 根気強い指導の継続と協力要請

実態報告（プライバシーの保護の範囲で）と協力要請を行う。

（以下略）

8 成果と課題

これからの学校教育は、ただ単に生徒に対して授業を行い、知識を豊富にさせるだけではなく、その営みの中で、人対人、人対自然や動物とのふれあいやかわりをとおして、一人ひとりを人間的に成長させなければならない。

また、その期待は大変大きいもので、教育に携わっている我々の責務は重大である。保護者はもちろんのこと、地域社会の教育に対する期待は計り知れないものとなってきた。



< 給食準備風景 >

そこで、これまで教育の在り方を反省し、学校という狭い環境の中だけでなく、広く、多くの意見を聞く中で、あるべき学校教育の姿を求めていかななくてはならないと考える。

今回、これまでの「学校評価」を見直し、時代のニーズに合った方法を模索しながら実施し、多くの意見や要望、指摘をいただいた。それらすべてに対応できるものではないにしても、これまでの学校運営に示唆をいただいたことには間違いない。謙虚に反省すべきところは反省し、出来ることから早急に対応していかなければならないと感じている。

(1) 成果

ア このたび、生徒による評価を全校的に実施し、改めて生徒一人ひとりを見つめる機会を得たことが挙げられる。

生徒による評価を集計する中で、学級担任から「この生徒は、こんなふう感じていたのか」、「こんなことを望んでいたのか」等の気付きの声が出る。その声が学年に広がり、職員室の話題となる。その中で、私たち自身の日々の生徒とのかかわりへの振り返りが行われる。出てきた新たな気付きは、ある意味で当たり前すぎて「アクション」として具体的に示すことができないことが多い。しかし、人と人とのかかわりの中で人が育っていくという教育の営みを考えるとき、こうした機会を得たことはとても意義があった。

イ これまで教員一人ひとりが行ってきた日々の実践は、決して間違っているとは思っていない。しかし、学校という狭い環境の中で、また、評価する立場ばかりにあった私たちが、これまでの方法に固執した教育だけでは、生徒たちを真に21世紀をたくましく生きる人間に育て上げるに十分であろうかということに気付くきっかけとなった。

ウ 評価項目の作成を通じて、本校の教育目標をはじめ、めざす生徒像、学校像、教師像、そして、その達成に向けての重点目標等を全教職員が意識し、日々の具体的な教育活動に取り組むことができた。

(2) 課題と今後の取組み

これからの学校は、保護者・地域住民と協働して、子どもたちに「生きる力」を育むことを基本とした教育活動を展開していかなければならない。

保護者や地域住民の信頼を得、理解を図っていくためには、なお一層の学校情報を保護者や地域住民に発信していく必要がある。また、受信する方策も整備し、情報の共有化と双方向のコミュニケーションが必要であると感じた。

平成14年度から中学校設置基準が改められ、第2条に自己評価等、第3条に情報の積極的な提供が記されている。学校評議員制度を活用し、学校評価(自己評価・外部評価)のシステム化について、今後さらに研究していかなければならない。

なお、地域住民の代表として、自治会長を評価者とするアンケートを考案中である。試案ではあるが、資料として掲載している(P.72参照)。



< 課題学習 理科 >

最後に学校評価を進める上での課題を挙げて、まとめとしたい。

- ア 価値観の多様な現在、保護者等のニーズをどこまで受け入れ、どのように対応すべきか検討する必要がある。
- イ 学校からの情報発信不足をいろいろな面で指摘されたが、全くそのとおりであり、早い対応の必要性を感じた。外部評価を効果的に実施するためには、教育活動に対する情報提供を保護者や地域の方々に繰り返し行い、教育活動に対する関心や理解の深化を図る必要がある。
- ウ 授業参観や学校行事等の機会を捉えて、必要に応じて保護者等にアンケートを実施し、意見や要望を把握する必要がある。
- エ 教育活動及び学校運営に対する成果と課題を年度内に明確にして改善案を決定し、次年度の学校経営、教育計画を具体的に作成できるようにするため、計画的に時期を考えて実施することが大切である。
- オ 学校評価の結果及び分析について公表し、今後の方針や取組みについて、保護者や地域住民、学校評議員の理解を得て、連携協力体制を強固にしていくことが大切である。
- カ 今回、評価領域を絞り、その領域ごとに設問を関連付けて学校評価を実施したが、現在の、特に中学校の多忙な現状を見て、評価を実施する時期や回数について、学校内でよく検討して計画する必要がある。

【資料6】 集計結果

「学校評価」の実施状況

保護者	1年	2年	3年	合計
在籍数	193	194	209	596
回答数	184	178	202	564
回収率(%)	95.3	91.8	96.7	94.6

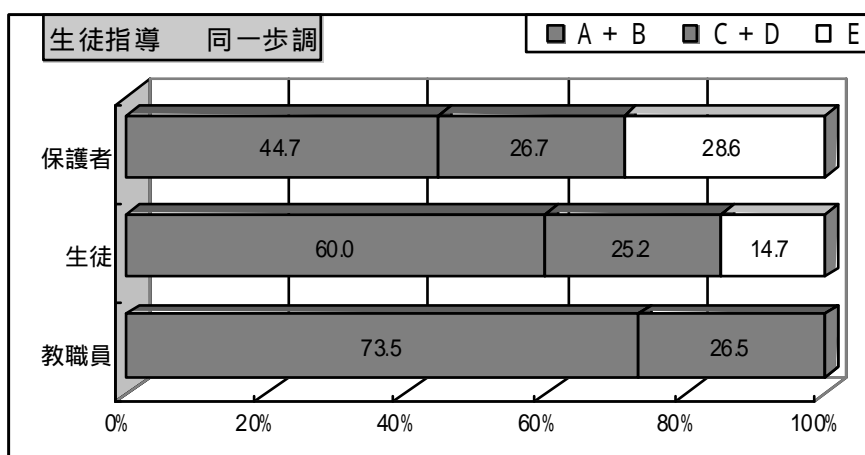
教職員	全体
在籍数	32
回答数	32
回収率(%)	100.0

生徒	1年	2年	3年	合計
在籍数	193	194	209	596
回答数	184	190	182	556
回収率(%)	95.3	97.9	87.1	93.3

評価のものさし

- A・・・まったくそう思う B・・・まあそう思う
 C・・・あまりそう思わない D・・・まったくそう思わない
 E・・・分からない

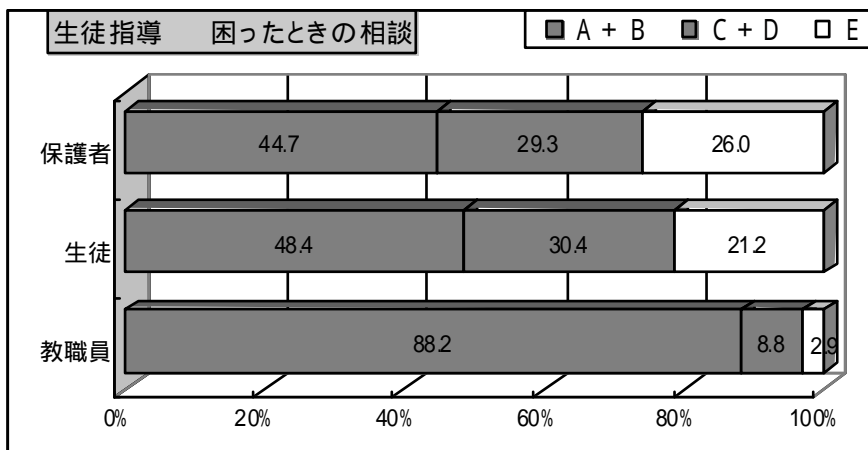
「生徒指導」及び「学習指導」の評価結果の分析（抜粋）



判定

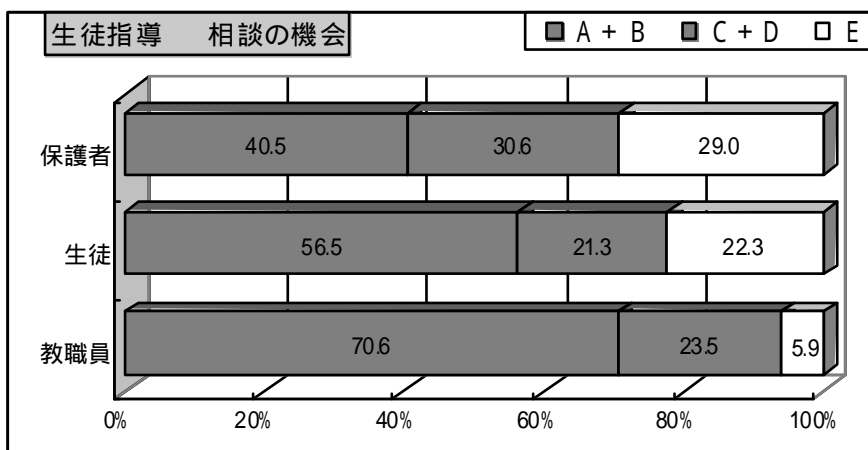
教職員のチームワークが今一步と感じている保護者が多いので、生徒指導主任を中心に生徒指導体制を見直す。

生徒指導の対応でマニュアル的なものはあるが、さらに共通理解を深めていく。



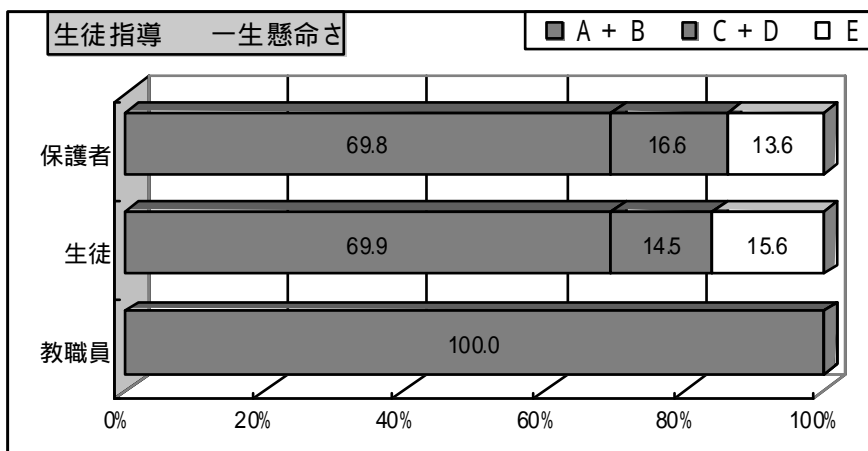
判定

教職員は、困ったときは相談できると思っているが、生徒や保護者はそう思っていない。今後は、生徒や保護者の目線に立った教育相談の充実に努める。日頃から生徒に対して積極的に声かけなどをする。



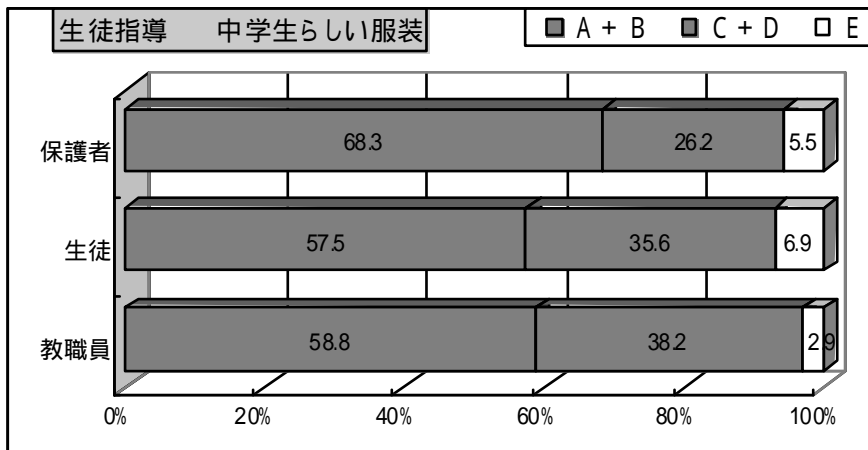
判定

教育相談の機会を充実させ、時間だけでなく質も高めていく。



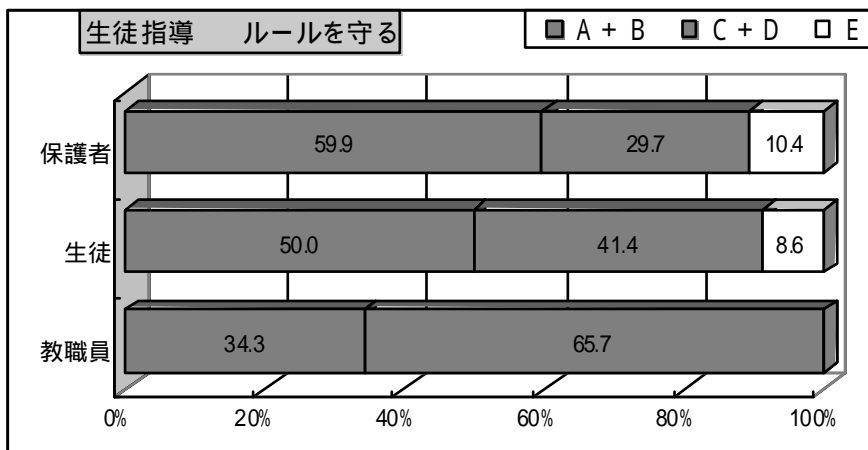
判定

教職員は、一生懸命に生徒のことを考えていると思っているが、生徒の一部は、不満感をもっている。教育活動のすべての場面できめ細やかな指導をしていく。



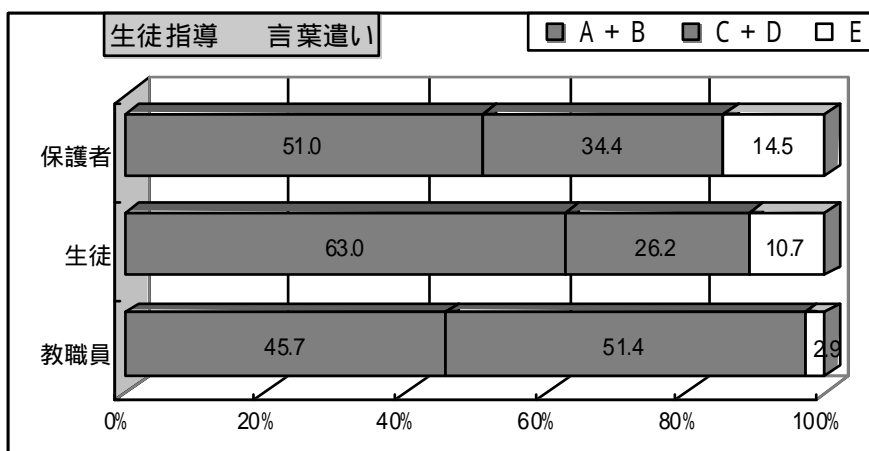
判定

前年度に比較して向上がみられる。今後も生徒の自発性を高めながら指導していきたい。ただ少数の生徒については向上がみられないので、根気強く保護者と力を合わせて指導する必要がある。



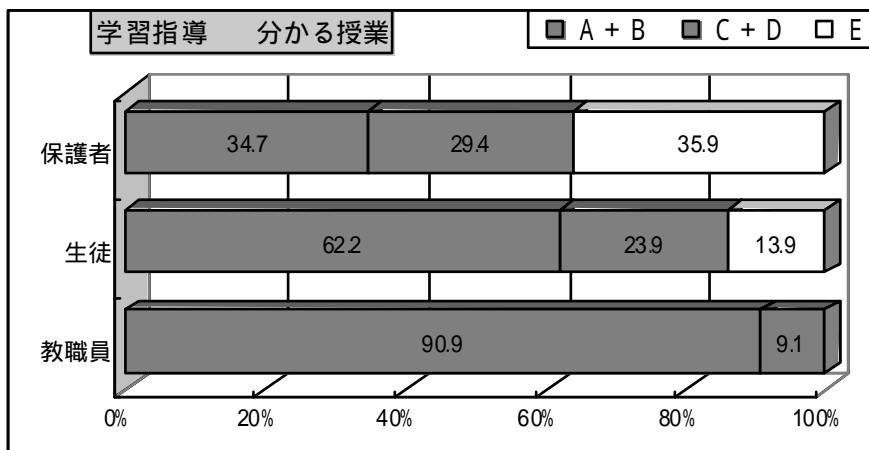
判定

教職員の多くがルールを守らない生徒が多いと感じている。生徒指導主任を中心に、確固たる姿勢で指導する。
保護者や地域に対して連絡を密にする。



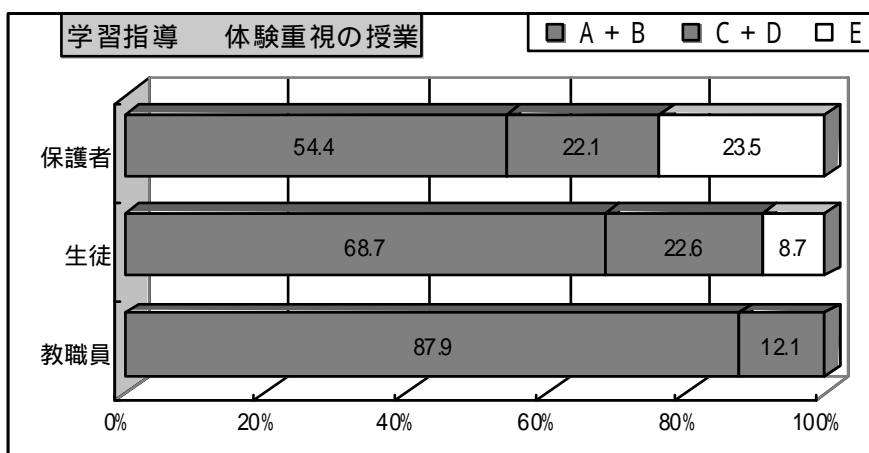
判定

目上の人に対して敬語で接することができないようである。全教職員が共通理解のもとに指導していく。保護者の中に生徒の教員に対する言葉遣いを問題に感じる声がある。時と場に応じた、けじめある言葉遣いができるよう指導していく必要がある。



判定

教職員は、授業の工夫ができていると感じている。しかし、生徒の約4割が授業が分かりにくいと感じていることは問題である。真摯に受け止めて研修を進めていかなければならない。

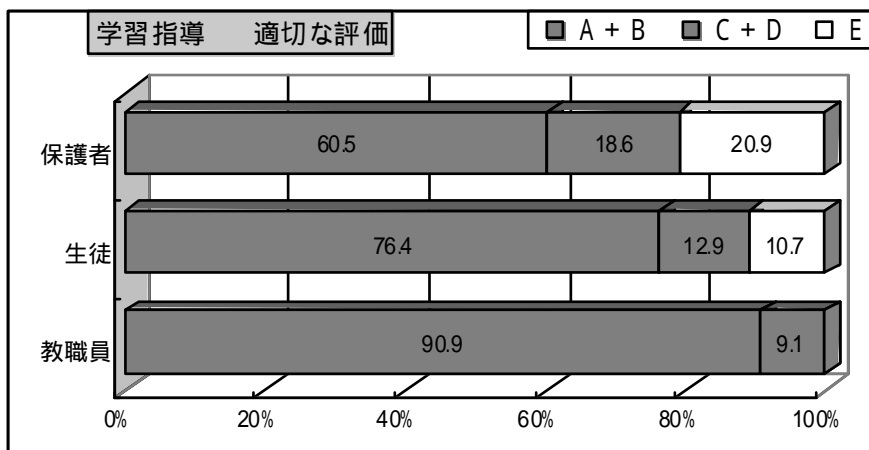


判定

体験重視の授業をもっと進めていかななくてはならない。校外学習や外部講師等を活用する。



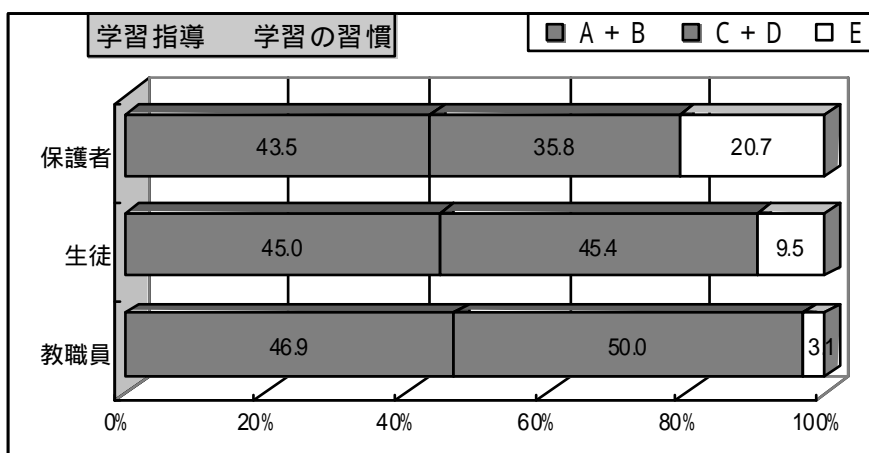
< 授業研究 英語 >



判定

全体的に適切な評価ができていると判断する。今後は各教科の評価規準などを生徒や保護者に分かりやすく知らせる必要がある。

校内研修を通じて、教職員一人ひとりが客観性と信頼性のある評価に努める。



判定

生徒や保護者の多くが学習習慣が身に付いてないと感じている。学校は、学習習慣の改善の指導に努める。

週休日や長期休業中の学習方法などを重点的に指導する。

自由記述からの抜粋

【生徒指導について・保護者から】

服装に関するものについて

- ・風紀に対し、一部全く徹底されていないのに疑問を感じる。化粧、スカート丈等、今一度検討されたいかがか。
- ・基本はやはり服装をきちんとすることだと思つので、少し厳しいくらいの指導をして頂きたいと思う。上級生になると服装の乱れが気になる。スカートが短すぎて、下着の見える子がいるそうだ。
- ・中学生らしい服装(制服)でない生徒をもっと指導してほしい。
- ・生徒全体が悪く見られるため、服装(制服)の乱れについて、もっと指導してほしい。
- ・身だしなみは何年たっても変わっていない。親の方にも指導が必要であると思う。

あいさつ、言葉遣いに関するものについて

- ・生徒にあいさつ指導を行う前に先生方からすすんであいさつをしてほしいと思う。先生方はあいさつをしないと母が言っていた。指導する立場にある者は、自分からすすんであいさつしてほしいものである。
- ・先日の参観日に、寝ている子どもや先生に敬語をつかえない子どもがいるのに驚いた。家庭での最低限のしつけができていないと思う。

生活一般に関するものについて

- ・学校内の様子が我が子からしか分からないので、正しい情報が入ってこないのが不安である。
- ・人としてしてはならないことをした場合、注意、指導よりも、本人が納得するまで熱意をもって叱ってほしい。

【生徒指導について・生徒から】

服装に関するものについて

- ・服装をはじめとする学校のルールをきちんと守ればよいと思う。
- ・服装で人を判断せずに、きちんと内面的なことも見てほしい。

交通・安全に関するものについて

- ・置きチャリなど、地域住民に迷惑をかけることがないようにしたい。苦情の電話よりも、お褒めの言葉がほしい。

【学習指導について・保護者から】

絶対評価に関するもの

- ・以前、中間・期末で平均90点近くとったが、評価が「3」で、「子どもも授業に積極的に取り組んでいるのに、これでは、がんばってもしょうがない。」と言っているというお母さんがいた。面談の時に具体的な説明が必要ではないだろうか。

補習に関するもの

- ・試験週間に補習の時間を設けていただきたい。

その他

- ・テスト前でも、今の子どもたちは遊びに夢中になっていると思う。(一部の子どもかもしれないが)もう少し厳しく勉強の取り組み方について子どもたちと話し合う必要があるのでは？
- ・授業を見る機会が少ないので、授業についてはよく分からない。

【学習指導について・生徒から】

- ・眠くならない授業を・・・
- ・授業の進度が速い。

【アンケートについて・保護者から】

アンケートへの要望や形式について

- ・このような形式的なアンケートではなく、日頃の思いが書けるようなアンケートが年に1～2回でもあればよいと思う。どうしても悪いことだけがクローズアップされてしまうが、我が子を通しての先生方は、本当によくしていただいていると感謝している。様々な親の思いが一度に集まって大変だろうが、要望ばかりでなく、良いところもどんどん情報として集められたら先生方も気持ちよく仕事ができ、親の思いを頭の片隅に止めてもらえるのではないだろうか。
- ・具体的な言葉が使われていながら、内容が理解しづらい質問があった。

情報不足のため回答しにくい内容等について

- ・主旨がよく分からない。学校に行くことがないのでこのアンケートに答えられない。先日まで参観日はなく、答えを見つけるのが大変である。

その他のアンケートへのご意見

- ・この調査で何が分かるのか、結果でどのようなアクションを起こすのか？何を調べたいのか、中身が全く分からない。
- ・このアンケート自体が無意味。何ら主体性をもたない。(今までの教育成果を保護者に開示して、安堵感を味わっているとしたかと思えない)
- ・学校側の、上に対する報告のためのアンケートであれば無駄。
- ・このようなアンケート調査はとても良いことだと思う。今後とも定期的に行っていたら幸いである。

平成16年度 よりよい学校づくりのために（教職員用）

氏名

今後の更なる飛躍をめざすために、前期の評価と反省を行いたいと考えます。忌憚のない評価と意見をお願いします。

評価 A・・・まったくそう思う B・・・まあそう思う
C・・・あまりそう思わない D・・・まったくそう思わない E・・・分からない

1 教育目標

教育目標は、学年・学級経営に位置付けられているか。 A・B・C・D E
 教育目標や学校経営方針を家庭が理解し、協力する手立てが講じられているか。 A・B・C・D E
 本校の特色を生かした教育計画になっているか。 A・B・C・D E
 教育目標の達成に向けた、具体的な取組みがなされているか。 A・B・C・D E

意見

2 教 務

教育課程の完全実施に向けて努力することができているか。 A・B・C・D E
 教育課程の指導計画を立て、実践に努めているか。 A・B・C・D E
 教育課程の編成には、十分な共通理解があったか。 A・B・C・D E
 授業時数の確保がなされているか。 A・B・C・D E
 議案が企画委員会に出される前段階でしっかり吟味できているか。 A・B・C・D E
 職員会議の進め方や議案の精選について適切であるか。 A・B・C・D E
 校内生徒指導委員会、就学指導委員会、旅行委員会等が有効に機能しているか。 A・B・C・D E
 行事予定に分掌担当の意見、調整案が生かされているか。 A・B・C・D E
 校務分掌の仕事の内容を良く把握し、遂行できているか。 A・B・C・D E

意見

3 総 務

学校施設の管理・運営は十分であるか。 A・B・C・D E
 学校備品の利用・管理状況は適切であるか。 A・B・C・D E
 育友会(PTA)と学校との緊密な協力・信頼関係の維持に努めているか。 A・B・C・D E
 公共物愛護の指導・破損箇所への処置は適切であるか。 A・B・C・D E

意見

4 学級経営

生徒一人一人の長所を発見し、それを学級内で生かす工夫をしているか。	A・B・C・D E
学級の集団活動で生徒は活発に活動できているか。	A・B・C・D E
朝夕の学級活動を効果的に行うための工夫をしているか。	A・B・C・D E
整理整頓された望ましい教室環境であるか。	A・B・C・D E
朝読書の時間が適切に運用されているか。	A・B・C・D E
家庭との連絡を十分に取り、協力して指導や助言ができていますか。	A・B・C・D E

意見

5 学年経営

学年の目標は、教職員間において共通理解できているか。	A・B・C・D E
学年内の連絡・調整・相談が緊密で、協力的な運営ができていますか。	A・B・C・D E
学年内のチームワークに寄与していますか。	A・B・C・D E
保護者の思いや願いを踏まえた指導に努めていますか。	A・B・C・D E

意見

6 研 修

本年度の研究主題は適切であったか。	A・B・C・D E
校内研修は、充実していますか。	A・B・C・D E
授業研究に対して、前向きに取り組んでいますか。	A・B・C・D E
自己研修に努めていますか。	A・B・C・D E

意見

7 生徒指導

学校は、今年、生徒指導方針として、基本的な生活習慣を身に付け、感謝と思いやりの気持ちをもって生活を送るよう指導してきたが、学校の生徒指導方針は生徒や保護者に納得できるものと思うか。	A・B・C・D E
学校全体で生徒指導に当たることができるように教職員の体制づくりに心がけているが同一歩調で生徒指導がなされているか。	A・B・C・D E
生徒にとって困ったときに相談できる教職員がいると思うか。	A・B・C・D E
年間を通じて生徒が相談しやすい環境づくりに努めているが、生徒との相談の機会は十分だと思うか。	A・B・C・D E
教職員は、生徒のことを一生懸命考えていると思うか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、中学生らしいきちんとした服装で学校生活を送っていると思うか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、時間を守ることや交通ルール等のきまりを守れていると思うか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、地域や学校において正しい言葉遣いができていると思うか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、地域や学校においてあいさつができていると思うか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、お互いの気持ちを大切にしていると思うか。	A・B・C・D E

意見

8 進路指導

学級活動の時間を利用して進路指導を行っているが、一人ひとりに応じた進路についての指導がなされていると思うか。..... A・B・C・D E

資料の作成・活用、指導方法を工夫しているが、生徒にとって役立っていると思うか。..... A・B・C・D E

進路全般に関する情報が分かりやすく、適切に提供されていると思うか。..... A・B・C・D E

意見

9 学習指導

授業の中で、生徒が進んで考えたり、作業したり、運動したりする場面が十分であると思うか。..... A・B・C・D E

選択基礎の時間を設けるなどして、学習の基礎・基本の定着に力を注いでいるがこのような学習の機会は十分であると思うか。..... A・B・C・D E

分かりやすい授業を工夫していると思うか。..... A・B・C・D E

テストの得点だけでなく、生徒の意欲や努力を取り入れた評価をしているが、適切に評価が行われていると思うか。..... A・B・C・D E

週休日や長期休業中を含めて学習の仕方を指導しているが、家庭学習に関する指導は十分であると思うか。..... A・B・C・D E

意見

10 道徳教育

道徳授業の工夫・改善に努めていると思うか。..... A・B・C・D E

計画的、継続的な指導を通して、道徳的実践力の育成が図られているか。..... A・B・C・D E

生徒の実態を踏まえた指導ができているか。..... A・B・C・D E

意見

11 特別活動

生徒の主体的な活動を重視した指導計画が立てられているか。..... A・B・C・D E

生徒の自主的な実践活動を促す指導や助言が行われているか。..... A・B・C・D E

資料が累積され、指導計画や指導法の改善に生かされているか。..... A・B・C・D E

生徒会活動や専門委員会・全校集会が充実しているか。..... A・B・C・D E

意見

12 総合的な学習の時間

学校や地域の特色を生かした取組みとなっているか。..... A・B・C・D E

生徒の主体的な活動を支援することができるか。..... A・B・C・D E

生徒は計画的に実践活動を行っているか。..... A・B・C・D E

資料が累積され、有効に活用されているか。..... A・B・C・D E

適切な評価がされているか。..... A・B・C・D E

意見

1 3 環境・整備

清掃活動に本気で取り組むための指導の手立てはできているか。	A・B・C・D E
校地経営や学級花壇(園)は充実しているか。	A・B・C・D E
自分の担当箇所の安全管理等はよくできているか。	A・B・C・D E
奉仕作業等の意義について、生徒に徹底できているか。	A・B・C・D E

意見

1 4 家庭との連携

保護者に向けて継続的に情報を提供できているか。	A・B・C・D E
保護者に対して誠意をもって接しているか。	A・B・C・D E
学校や学年の行事に保護者が参加しやすいような工夫がなされているか。	A・B・C・D E

意見

1 5 人権教育

人権意識高揚のための研鑽に努めているか。	A・B・C・D E
計画的・継続的指導を通して、生徒の人権意識の高揚に努めているか。 ...	A・B・C・D E
差別や偏見につながる問題の解決が日常的に図られているか。	A・B・C・D E

意見

1 6 保 健

保健・安全指導は適切に実施できているか。	A・B・C・D E
給食指導は適切に行えているか。	A・B・C・D E
日々、生徒の健康把握に努めているか。	A・B・C・D E
病気・事故に対する対応は適切であるか。	A・B・C・D E

意見

1 7 部活動に関する気付き・意見

気付き・意見

1 8 その他の気付き・意見

(これまでに余白の関係で書けなかったことなど、あれば書いてください。)

気付き・意見

よりよい学校づくりのために (生徒用)

氏名

よりよい高千帆中をつくるために、生徒の皆さんの意見を聞かせてください。

*以下の項目についてA, B, C, D, Eのいずれかを で囲んでください。
 A・・・まったくそう思う B・・・まあそう思う C・・・あまりそう思わない
 D・・・まったくそう思わない E・・・分からない

1 あなたの学校生活について

学校へ行くのが楽しい。	A・B・C・D E
自分が、高中生でよかった。	A・B・C・D E
目的をもって学校へ登校している。	A・B・C・D E
あなたには、困ったときに相談できる先生がいる。	A・B・C・D E
あなたにとって、先生との相談の機会は十分である。	A・B・C・D E
先生たちは、生徒のことを一生懸命考えてくれている。	A・B・C・D E
先生たちは、基本的な生活習慣を身に付け、感謝と思いやりの気持ちをもって生活を送るよう指導してきましたが、あなたも、この目標が大切なことだと思う。	A・B・C・D E
先生たちは、全員が協力して同じように指導してきましたが、あなたから見ても先生たちは、同じように指導している。	A・B・C・D E

2 高中生の全体の様子について

高中生は、中学生らしいきちんとした服装で学校生活を送っている。	A・B・C・D E
高中生は、時間や交通ルール等のきまりを守っている。	A・B・C・D E
高中生は、地域や学校で時と場に応じた正しい言葉づかいができています。	A・B・C・D E
高中生は、地域や学校においてあいさつができています。	A・B・C・D E
高中生は、お互いの気持ちを大切にしている。	A・B・C・D E

高中生に対して、どのような印象をもっていますか。書いてください。

3 進路の学習について

高中では、総合的な学習の時間や学級活動で、生徒が自らの生き方を考え、主体的に将来の進路を選択・決定できることをめざした「進路指導」に努めています。

進路学習で、自分自身の生き方を考えることができたと思うか。	A・B・C・D E
一人ひとりに配られた資料や行った活動は、あなたに役だっている。	A・B・C・D E
進路の学習のようすを、あなたはよく家庭に伝えている。	A・B・C・D E

4 授業について

授業のとき、自分からすすんで考えたり、作業したり、運動したりする場面は十分にある。	A・B・C・D E
選択基礎の時間などをつくり、基礎・基本が身に付くよう考えていますが、このような学習の機会は十分である。	A・B・C・D E
学習の評価は、テストだけでなく提出物や授業中の努力等を含めて行われている。	A・B・C・D E
週休日(土、日)や長期休業中を含めて、家庭学習の習慣が身に付いている。	A・B・C・D E
授業は、分かりやすい。	A・B・C・D E

学校生活をより充実させるための意見や要望などがありましたら、書いてください。

よりよい学校づくりのために （保護者用）

保護者氏名（回答者氏名）

よりよい高千帆中をつくるために、保護者の皆様のご意見をお聞かせください。

*以下の項目についてA, B, C, D, Eのいずれかを で囲んでください。

A・・・まったくそう思う B・・・まあそう思う C・・・あまりそう思わない

D・・・まったくそう思わない E・・・分からない

1 学校生活のことについて

あなたのお子さんは、学校に行くのを楽しみにしていると思われませんか。	A・B・C・D E
あなたは、お子さんが本校の生徒でよかったと思われませんか。	A・B・C・D E
あなたのお子さんは、目的をもって学校に登校していると思われませんか。	A・B・C・D E
あなたのお子さんは、困ったときに相談できる教員がいると思われませんか。	A・B・C・D E
教職員との相談の機会は、あなたのお子さんにとって十分であると思われませんか。	A・B・C・D E
教職員は、生徒のことを一生懸命考えていると思われませんか。	A・B・C・D E
学校では、基本的な生活習慣を身に付け、感謝と思いやりの気持ちをもって生活を送るよう指導してきましたが、この方針は納得できますか。	A・B・C・D E
学校全体で生徒指導に当たることができるように、心がけておりますが、皆さんからみても、教職員は、同じように指導していると思われませんか。	A・B・C・D E

2 生徒の全体の様子について

本校の生徒は、中学生らしいきちんとした服装で学校生活を送っていると思われませんか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、時間や交通ルール等のきまりを守っていると思われませんか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、地域や学校において時と場に応じた正しい言葉遣いができていると思われませんか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、地域や学校においてあいさつができていると思われませんか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、お互いの気持ちを大切にしていると思われませんか。	A・B・C・D E

本校の生徒に対して、どのような印象をお持ちですか。お書きください。

3 進路指導にかかわるもの

本校では、総合的な学習の時間や学級活動で、生徒が自らの生き方を考え、主体的に将来の進路を選択・決定できることをめざした「進路指導」に努めています。

一人ひとりに応じた進路についての指導がなされていると思われませんか。	A・B・C・D E
進路について配られた資料や行った活動は、あなたのお子さんに役だっていると思われませんか。	A・B・C・D E
家庭にお知らせしている進路に関する情報は、分かりやすく、適切であると思われませんか。	A・B・C・D E

4 授業について

生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫しておりますが、生徒がすすんで考え、作業し、運動する場面は十分であると思われませんか。	A・B・C・D E
選択基礎の時間を設けるなどして、学習の基礎・基本の定着に力を注いでおりますが、このような学習の機会は十分であると思われませんか。	A・B・C・D E
テストの得点だけでなく、生徒の意欲や努力を取り入れた評価をしておりますが、適切に評価が行われていると思われませんか。	A・B・C・D E
休日や長期休業中を含めて学習の仕方を指導しておりますが、家庭学習に関する学校の指導は十分であると思われませんか。	A・B・C・D E
分かりやすい授業を工夫していると思われませんか。	A・B・C・D E

5 家庭との連携にかかわるもの

保護者の皆さんに向けて学校の様子をお知らせできていると思われませんか。	A・B・C・D E
保護者の皆さんに対して、教職員は誠意をもって接していると思われませんか。	A・B・C・D E
今年度から参観日などを増やしましたが、学校や学年の行事に保護者の皆さんが参加しやすいような工夫がなされていると思われませんか。	A・B・C・D E

高千帆中学校をよりよくするために、お考えがありましたら、お書きください。

このアンケートについて、お気づきのことがありましたら、お書きください。

アンケートのご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

よりよい学校づくりのために（地域用）試案

回答者氏名

よりよい高千帆中をつくるために、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

*以下の項目についてA, B, C, D, Eのいずれかを で囲んでください。

A・・・まったくそう思う B・・・まあそう思う C・・・あまりそう思わない

D・・・まったくそう思わない E・・・分からない

1 生徒の全体の様子について

学校では、基本的な生活習慣を身に付け、感謝と思いやりの気持ちをもって生活を送るよう指導してきましたが、この方針は納得できますか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、中学生らしいきちんとした服装で生活をしていると思われませんか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、交通ルール等の社会のきまりを守っていると思われませんか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、時と場に合った正しい言葉遣いができていると思われませんか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、あいさつができていると思われませんか。	A・B・C・D E

本校の生徒に対して、どのような印象をお持ちですか。お書きください。

2 地域との連携にかかわるもの

育友会(PTA)広報誌などで学校の様子をお知らせしていますが、十分であると思われませんか。	A・B・C・D E
本校の生徒は、自治会の行事などに参加していると思われませんか。	A・B・C・D E

高千帆中学校をよりよくするために、お考えがありましたら、お書きください。

このアンケートについて、お気づきのことがありましたら、お書きください。

アンケートのご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

② 答えやすく、処理しやすい評価方法の工夫

小野田市立小野田中学校

1 学校独自の評価表

学校評価は、学校改善に生かすためのもので、評価することを目的とするものではない。学校は意図的・計画的な教育活動を実践するところであるので、その学校ならではの教育活動が生徒や保護者にどう評価されているかを知るためのものでもあると考える。

また、評価項目を見ることで、生徒や保護者があらためて学校や自分たちを見つめ直し、教職員と課題を共有化するのに効果的であると考え。

本校では、以前は、PTA役員のみを対象に、P.74のように本校独自の取組みについての項目を入れ、評価を実施してきた。自由記述欄も多く、貴重な意見を得やすかったのだが、集計が煩雑であり、また、保護者からは「書くことが多い」「学校を評価するなんておこがましい」などの理由で答えにくいという意見もあった。

その後、全生徒、保護者に実施したいと考え、答える方も答えやすく、評価される方も分かりやすく、集計しやすいものにしたいと考え、P.75にあるような評価表で実施した。よい結果を導くような問いもあり改善点もあるが、ポイントは次の通りである。

- (1) 保護者が評価しやすいように、タイトルを学校評価とせず、今後の子どもたちの学校生活をより良くするためのアンケートとした。
- (2) 内容に保護者や生徒が自己を振り返る評価も含める。それによって、学校評価への抵抗感をなくせるし、保護者の学校の教育活動への関心を高めることができたかどうかを振り返ることができ、教職員の反省材料にもなる。同様のことは生徒の評価表にも言える。
- (3) カリキュラム、教職員、友人や環境などの面についても5項目ずつにまとめて評価表に入れる。

2 回収率の高い実施方法

評価の時期は、P-D-C-Aサイクルに基づく学校改善をめざして、次の学期や次の年度に生かすことができるよう、各学期末に行っている。

保護者に対する評価依頼の方法としては、以前は、保護者に評価用紙を配布し、後日回収するという方式で行っていたが、現在は、学期末保護者会当日に、教室の外で待っている時間に書いてもらい、その場で回収するという方法をとっている。

このような方法によって、保護者への負担も軽くなると同時に時間の有効利用にもなり、回収率も高くなる。また、懇談の前にその学期を振り返ることにになり、効果的であるように思う。

平成14年度 学校への評価(抜粋)

「生徒自ら学ぶ意欲と豊かな心をもって、自ら課題を見つけ、自ら学び考え、問題を解決する力など、生きる力を育てるために、全教職員の英知と実践力を結集してその支援に努める。」「家庭や地域社会に開かれた学校経営に努めるとともに、相互の連携を密にして、教育的効果を相乗的に高めるように努める。」ことをめざして、今年度、小野田中学校ではこのような取組みをしました。

これらの取組みについて3段階で評価していただき、さらに、どのような効果的な取組みができるかについて、御意見をお聞かせください。

A よくできている B 普通 C 工夫・改善が必要 D 分からない

ねらい	具体的取組み・活動				
学ぶ楽しさを教え、学力を高める <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">A</td> <td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">B</td> <td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">C</td> <td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">D</td> </tr> </table>	A	B	C	D	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の三原則(準備、チャイム前着席、私語なく集中)の徹底、 ・「学習の手引き」を活用した学習指導や教科指導の実施、 ・各種テストの適宜実施及び結果分析、 ・多様な学習活動・形態の工夫、 ・学習状況の多面的な把握に向けた評価・通知表等の改善、少人数(数学)指導の導入
A	B	C	D		
御意見等					

その他の項目

ねらい	具体的取組み・活動
自分を見つめ、生きる方向を探させる	<ul style="list-style-type: none"> ・職業指導、職業調べ(1年) ・職場体験学習、高校調べ(2年) ・進路説明会、体験入学、進路懇談会2回(3年) ・地域の人材に学ぶ会(全校) ・先輩に学ぶ会(1, 2年)
体験を通してチャレンジ精神を養う	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊研修(1, 2年) ・職場体験学習(2年) ・修学旅行、京都・門司の班別自主研修(3年) ・ボランティア・一校一善運動(全校)
社会のルールや常識、知恵を教える	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の充実 ・相談体制の充実 ・人間関係づくり、学級づくりの推進
情報活用能力とコミュニケーション能力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚、コンピュータの効果的な活用 ・総合的学習の時間(調べ学習、発表)
地域を知り、地域と交わり、地域と共に生きる学習	<ul style="list-style-type: none"> ・一校一善校外クリーン作戦(1年) ・一校一善老人ホームクリーン作戦、職場体験学習(2年) ・一校一善学校周辺クリーン作戦(3年)
家庭・地域・学校が情報交換を図る場の設定と積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観(5月、6月、11月、2月) ・二者・三者懇談会(7月、12月) ・学級懇談会(6月、11月) ・学年懇談会(2月) ・部活懇談会(5月) ・地区懇談会(7月) ・教育講演会(12月2回、3月) ・学校評議員会(7月、3月) ・学級通信、保健だより、相談室だよりなどの広報活動

1学期を終えて（生徒用）

（ ）年（ ）組 氏名（ ）

このアンケートは、みなさんの学校生活をよりよくするための資料とするものです。それぞれの問いについて、あてはまると思うところに 印を書いてください。

- A・・・よくあてはまる B・・・ややあてはまる C・・・あまりあてはまらない
D・・・まったくあてはまらない

分からないところは、空欄でかまいません。

	項 目	A	B	C	D
1	一生懸命、授業に取り組むことができた。				
2	言動は思いやりのあるものだった。				
3	掃除や係の仕事を責任もってやりとげた。				
4	部活動に積極的に参加した。				
5	学校のきまりをしっかりと守った。				
6	分かりやすい授業が多い。				
7	数学など少人数の授業は分かりやすい。				
8	1クラスが30人前後で、多すぎないのはよいことだ。				
9	1学期の学校行事は、よい経験になった。				
10	(2・3年) 選択授業は教科書以外のこともできて楽しい。				
11	授業で分からないときに、先生に質問しやすい。				
12	教え方に工夫をしている先生が多い。				
13	いじめなどに対して、先生はすぐに対応してくれる。				
14	自分の努力を認めてくれる先生が多い。				
15	気軽に相談できる先生がいる。				
16	学校には友だちがいて楽しい。				
17	学校には花壇や掲示物が整理されている。				
18	人の生き方や社会生活について考える機会がある。				
19	急な事件や事故の時どうしたらよいか分かっている。				
20	学校での毎日は楽しい。				

1 学期を終えて（保護者用）

おさまの学級（ ）年（ ）組 性別（ ）

このアンケートは、子どもたちの学校生活をよりよくするための資料とするものです。それぞれの問いについて、御自分のおさまにあてはまるところに 印を書いてください。

A・・よくあてはまる B・・ややあてはまる C・・あまりあてはまらない
D・・まったくあてはまらない

分らないところは、空欄でかまいません。

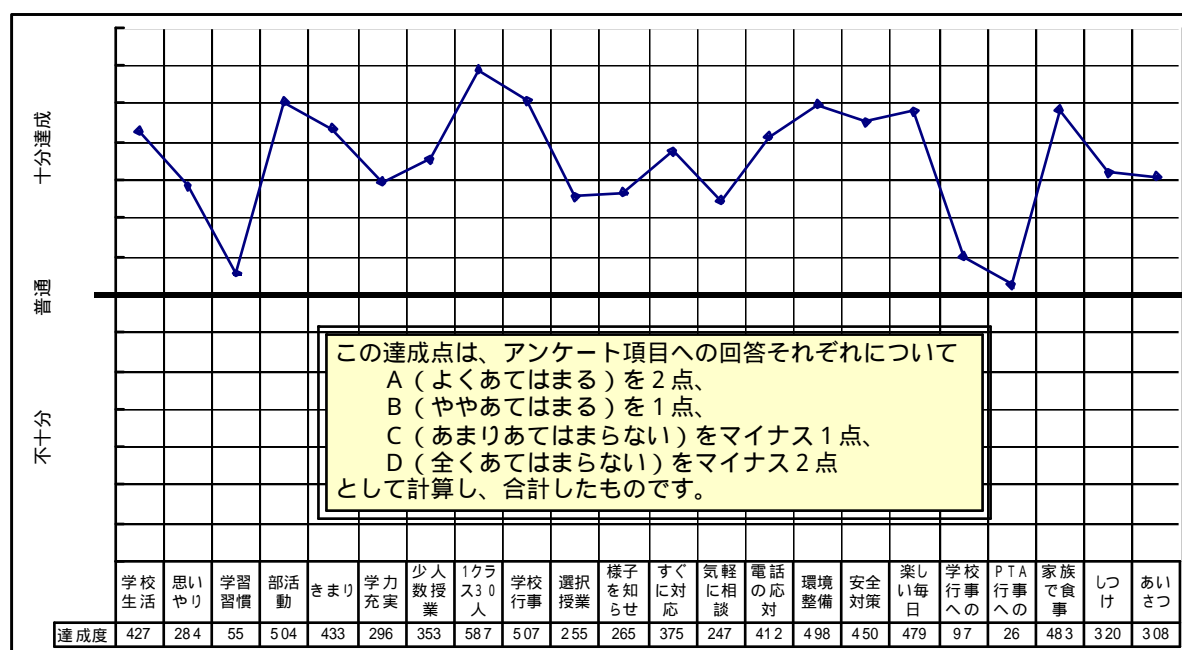
	項 目	A	B	C	D
1	一生懸命、学校生活に取り組むことができたと思う。				
2	言動は思いやりのあるものだったと思う。				
3	家庭での学習習慣が身に付いている。				
4	部活動に積極的に参加したと思う。				
5	学校のきまりをしっかりと守ったと思う。				
6	学校は学力充実のために努力していると思う。				
7	数学など少人数の授業は分かりやすいようだ。				
8	1クラスが30人前後で、多すぎないのはよいことだ。				
9	1学期の学校行事は、よい経験になった。				
10	(2・3年)選択授業は教科書以外のこともできて楽しいようだ。				
11	子どもたちはよくあいさつをする。				
12	学校は、学校や子どもたちの様子を知らせてくれている。				
13	何事にも、先生はすぐに対応してくれる。				
14	気軽に相談できる先生がいる。				
15	学校の電話の対応などはよい。				
16	学校には花壇や掲示物が整理されている。				
17	学校は子どもの安全について配慮している。				
18	学校での毎日は楽しいようだ。				
19	保護者として学校行事には進んで参加している。				
20	保護者としてPTA行事には進んで参加している。				
21	子どもと朝夕一緒に食事をしている。				
22	子どもにはしっかりしつけをしているほうだ。				

3 分かりやすいデータ処理

先の評価表では、A……2点、B……1点、C……-1点、D……-2点で処理し、グラフ化した。次に示しているものは、1学期末の評価のあと、夏休みの登校日に発行した学校だよりに掲載したものである。考察がまだ十分ではないが、できるだけ早く結果を公表することが、保護者からの信頼感を得るのではないかと考え、この方法をとった。学校への評価が具体的に数値化されてよく分かり、このようなデータなどを基に、まずは全教員が授業改善計画書を作成し、授業のレベルアップに乗り出した。

【学校だより】

1学期末に保護者と生徒を対象に「1学期を終えて」という本校の現在のがんばり度をはかるアンケートを実施しました。その結果が下のグラフ(上段:保護者 下段:生徒)です。



不十分という項目はありませんでしたが、まだまだ普通に近い項目もいくつかあるので、教職員の対応など厳しく振り返り、2学期、3学期とさらに向上させていきたいと思えます。

4 今後の課題

評価表については、今後、再び自由記述形式を取り入れたり、学校側が重点的に取り組んでいることに焦点を当てて尋ねたりといった改善が求められている。しかし、それ以上に現在改善する必要があるのが結果の公表についてである。

保護者が知りたいのは、単なる評価結果ではなく、そこに表れたデータを、学校がどう捉え、学校がこれから何をするか、また、それによって今後どうなるのか、その見通しとその理由であろう。P-D-C-Aサイクルに基づいた学校評価・学校改善に取り組む上で、そのような対応は既に行っているが、保護者に公表するとなると、それは約束となり、時には厳しく結果責任が求められることにもなる。しかし、学校改善に真摯に取り組むためには、教職員の共通理解の下、これらの課題を克服していく必要がある。

③ 評価が学校改善に生きる年間スケジュールの工夫

宇部市立上宇部中学校

1 はじめに

学校評価の導入に際しては、年次的に教職員による自己評価、さらに生徒・保護者・地域住民による外部評価を実施してきた。

この間、導入当初は自己評価のみの実施に力点を置いていた状況であった。しかし、徐々に各評価の有効活用や学校マネジメントサイクル(P-D-C-Aサイクル)に基づいた学校改善の具体的方策に着手する必要性が求められてきた。

実践を重ねる中で、「評価のための評価」から以下のような「よりよい学校づくりのための学校評価の年間スケジュールの構築」が課題として挙がってきた。

評価(Check)を改善(Action)につなぐ校内体制とスケジュールをどのように作っていくか。
 改善をどのように次年度の計画(Plan)につなぎ、年度当初からのスムーズな実践(Do)を図っていくか。
 教職員の自己評価に生きる生徒・保護者の外部評価の実施時期をどのようにするか。

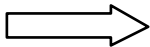
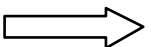
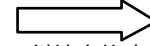
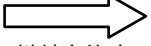
学校評価は、P-D-C-Aサイクルに基づき計画(P)から開始することが望ましいと考えられるが、導入の時期において評価(C)から取り組んだ結果、前述のような課題が浮き彫りになり、学校評価が学校改善に生きる年間スケジュールの工夫を行ってきた。

2 これまでの取組み

(1) 自己・外部評価の導入年度と評価の実施時期

本校の学校評価の歩みを年度を追って見てみると下図のようになる。

平成15年度に教職員・生徒・保護者・地域住民による自己・外部評価を導入し、16年度からP-D-C-Aサイクルに沿った学校評価が滑り出した。

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
自己 評価	教職員	<ul style="list-style-type: none"> 本年度の反省 3学期末実施 	<ul style="list-style-type: none"> 本年度の反省と次年度への提言 2学期末実施 	 (継続実施中)	 (継続実施中)
				外 部 評 価	生徒
保護者	<ul style="list-style-type: none"> P T A 役員による学校評価 2学期後半実施 	<ul style="list-style-type: none"> 全保護者による学校評価 2学期後半実施 			
地域	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員による学校評価 3学期実施 	 (継続実施中)	 (継続実施中)		

- 【平成14年度】 ・教職員による自己評価の実施時期を2学期末に変更し、「次年度への提言」を盛り込んで実施。
・学校評議員による外部評価を3学期に実施。
- 【平成15年度】 ・2学期後半(12月初旬)に全生徒及びPTA役員による外部評価を実施。
・評価結果を2学期末の教職員による自己評価の参考資料として活用。
- 【平成16年度】 ・前年度、試行的に実施したPTA役員による保護者評価を、全保護者に拡大して実施。

(2) 学校評価における年間スケジュール・校内体制の課題

平成14年度から自己評価や外部評価を取り入れながら、学校マネジメントサイクルに沿った評価体制を整えてきているが、以下のような課題が出てきている。

- ・評価(C)の実施は年間一回とし、これに向けて年度当初から計画(P)が全教職員の共通理解のもとでスタートでき、実践(D)に移行できるようにする必要がある。
- ・計画～実践(P～D)段階において、生徒・保護者にも「学習指導・生徒指導・進路指導」の3本柱を中心に十分な情報提供を行い、理解・協力が得られるようにする必要がある。
- ・改善(A)の主体はやはり教職員であるから、教職員による的確な自己評価を実施するための参考資料として、生徒・保護者の評価結果を活用できる評価スケジュールを立てる必要がある。
- ・改善(A)のための具体的な方策を検討するために必要な期間と場を確保する必要がある。

3 学校評価における年間スケジュールの工夫

(1) 年間スケジュール立案上の留意点

年間スケジュールの立案に際しては、以下の内容に配慮して行うこととした。

- ・年度当初において計画(P)から実践(D)への移行ができるだけ円滑に教職員の共通理解のもとにできるようにする。
- ・実践(D)において、各種行事が情報発信の場となり、生徒の活動を参観する場ともなるよう配慮する。
- ・生徒・保護者による外部評価(C)の実施時期は11月末から12月初旬とし、実践(D)がある程度消化され、主要行事が終わった時期とする。
- ・また、生徒・保護者による外部評価が、教職員の自己評価の客観的な評価資料として活用できるように結果の集計の時間を確保する。
- ・教職員による自己評価(C)は2学期末から3学期初めとし、生徒・保護者による外部評価が客観的な評価資料として活用できるよう実施時期が重ならないようにする。
- ・年度内の反省・改善(A)のための各校務分掌部会での検討の時間を確保する。
- ・次年度に向けての改善(A)及び計画(P)立案のための各校務分掌部会等における検討の時間を確保する。
- ・次年度の学校評価のスタートが円滑に行えるように、次年度に向けての改善(A)及び計画(P)についての検討や共通理解を行うための時間を確保する。

(2) 学校評価年間スケジュール表

		教職員	生徒	保護者	地域															
計 画 P	3月	・職員会議で各校務分掌部会から具体的改善策（A）及び次年度へ向けての活動計画（P）の提案及び検討																		
	4月	・職員会議で各校務分掌部会から今年度の年間活動計画案（P）の提案及び検討																		
実 践 D 評 価 C 改 善 A	5月	<ul style="list-style-type: none"> 各校務分掌により年間活動計画に沿って活動開始（D） 生徒及び保護者への情報発信 																		
	6月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>情報発信の3本柱 『学習指導』・『生徒指導』・『進路指導』</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・PTA総会</td> <td style="width: 33%;">・PTA評議員会</td> <td style="width: 33%;">・学年保護者会</td> </tr> <tr> <td>・進路説明会</td> <td>・保護者懇談会</td> <td>・学級懇談会</td> </tr> <tr> <td>・参観日</td> <td>・学年通信</td> <td>・学級通信</td> </tr> <tr> <td>・学校新聞</td> <td>・生徒指導だより</td> <td>・保健だより</td> </tr> <tr> <td>・教育講演会だより</td> <td>・家庭訪問</td> <td>・職場体験学習</td> </tr> </table> </div>				・PTA総会	・PTA評議員会	・学年保護者会	・進路説明会	・保護者懇談会	・学級懇談会	・参観日	・学年通信	・学級通信	・学校新聞	・生徒指導だより	・保健だより	・教育講演会だより	・家庭訪問	・職場体験学習
	・PTA総会	・PTA評議員会	・学年保護者会																	
	・進路説明会	・保護者懇談会	・学級懇談会																	
	・参観日	・学年通信	・学級通信																	
	・学校新聞	・生徒指導だより	・保健だより																	
	・教育講演会だより	・家庭訪問	・職場体験学習																	
	7月																			
	8月																			
	9月	・第1回学校評議員会																		
10月																				
11月	・学校評価項目の検討																			
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>生徒・保護者による外部評価実施</u>（添付資料2，3） <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者による外部評価の集計 （教職員の評価の参考資料とする） 																			
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教職員自己評価実施</u>（添付資料1） <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員による自己評価結果集計及び分析 																			
2月	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価集計結果をもとに、各校務分掌部会毎に今年度の反省及び次年度へ向けての改善策（A）を検討 																			
3月	<ul style="list-style-type: none"> 保護者へ学校評価結果報告 ・第2回学校評議員会 （<u>地域による外部評価実施</u>） 職員会議で各校務分掌部会から具体的改善策（A）及び次年度に向けての活動計画（P）の提案と検討 																			

4 効果的な学校評価年間スケジュールに向けた成果と課題

学校評価の先進校視察において、保護者の評価の中に「学校がこうした評価を保護者に求めること自体が評価できる」という意見・感想があり、評価内容や方法はともかくも「まず、学校評価を始めることが大切である」というアドバイスをいただいた。

本校では、評価（C）の部分を年次的に自己評価、外部評価へ拡大してきた。特に、よりよい学校づくりに有効な年間スケジュールを立てることに力点を置き、各評価が相互に生き、改善（A）に有効に機能するシステムを模索してきた。この間の取組みで有効な点や改善の必要がある点などを成果と課題としてまとめ、信頼される学校づくりに努めていきたい。

（１）成 果

ア 前年度末の改善（A）での具体的な方策を基に、年度当初、各校務分掌から年間計画や活動方針が示され、計画（P）が教職員全体の共通理解を図り、実践（D）に速やかに移行できるようになった。

イ 実践（D）においては、従来の取組みの見直しが促進され、また様々な活動の事前の計画・準備が入念に行われるようになってきた。

教職員・生徒・保護者相互の連携がより密になり、適時ニーズに応じた対応が取れるようになってきた。評価することにより保護者には「学校のことをあまりにも知らな過ぎた。家庭で子どもとしっかり話をする機会をもちたい」といった声も聞かれた。

ウ 本校では、生徒や保護者による外部評価は、質問項目を相互にリンクさせたアンケート方式にしている。（資料1，2参照）また、教職員による自己評価では、校務分掌毎に次年度への提言や具体策を記入するように工夫している。

外部評価と自己評価の時期をずらしたことで、外部評価の結果を自己評価の際の参考資料として活用できるとともに、より客観的な反省ができ、それにより改善策にも生徒・保護者の意見や提言を反映させることができた。

教師による自己評価では、次年度への提言・具体策を記入することにより、教職員一人ひとりの学校運営に関する当事者意識が高まったように思われる。

また、「上宇部中生徒としてできることは」というテーマを掲げ、生徒が自ら地域に向いて街頭インタビューや意見箱を設置して地域の方々の意見を聞き、それを基に「上宇部中生徒5カ条」として自分たちのあるべき姿を求めた取組みも見られた。

エ 改善（A）については、年度内に評価結果をもとにその具体策を校務分掌部会や職員会議で協議し、次年度の計画（P）・実践（D）の骨格とすることができた。

（２）課 題

ア 保護者による評価では、「学校を評価するのは気が引ける」といった感想が聞かれ、学校評価の目的を分かりやすく説明する必要がある。

また、「評価」という言葉のもつ堅苦しいイメージも否めず「よりよい学校づくりに向けて」など「評価」に変わる適当な表現が必要であると感じた。

イ 学校からの情報発信の量は増加しているが、評価の項目によっては「分からない」とする回答が見られることから、さらに積極的に取り組む必要がある。このことは、評価の判断材料の提供に留まらず、学校との信頼関係づくりの基盤ともなるものである。

ウ 学校評価の年間スケジュールを立てたが、今後は様々な学校の取組みについて参観日や行事ごとに生徒・保護者・教職員による補完的な評価を行う必要がある。

【資料1 生徒用評価表】

平成16年度学校評価「よりよい上宇部中学校をめざして」 (生徒用)
評価依頼文 省略
< 回答方法 > 各項目のA～Eから1つ選んで右側の記号に 印を付けてください。
学年と性別に 印を記入してください。 学年(1・2・3)年 性別(男・女)
<u>1 学校生活について</u> あなたは学校に行くのが楽しいですか。 A 楽しい B どちらかという楽しい C あまり楽しくない D まったく楽しくない E 分からない [A・B・C・D・E]
あなたは、自分が、本校の生徒であることに誇りをもっていますか。 A もっている B どちらかというもっている C あまりもっていない D まったくもっていない E 分からない [A・B・C・D・E]
自分は、目標をもって学校に登校していると思いますか。

【資料2 保護者用評価表】

平成16年度学校評価「よりよい上宇部中学校をめざして」 (保護者用)
<u>1 学校生活にかかわること</u> あなたのお子さんは学校に行くのを楽しみにしていると思われませんか。 [A・B・C・D・E] あなたのお子さんは本校の生徒として誇りを感じていると思われませんか。 [A・B・C・D・E] あなたのお子さんは目的をもって学校に登校していると思われませんか。 [A・B・C・D・E]
<u>2 生徒指導にかかわること</u> 本校では今年学校チャレンジ目標として、生徒・教職員が一緒になって「部活動を頑張ろう」という